

消防防災科学技術研究推進制度の令和3年度研究開発課題の募集概要

テーマ設定型研究開発 ※消防庁があらかじめテーマを設定

区 分	概 要
重要研究開発プログラム	「統合イノベーション戦略 2020」（令和2年7月17日閣議決定）等の政府方針や消防機関のニーズを踏まえ定めた重点研究開発目標を達成するため、消防研究センターにおける直接研究や消防庁の調査検討事業等に資する技術の研究開発を募集
重要施策プログラム	以下の分野について、消防庁の重要施策の推進に資する技術の研究開発を募集 [募集する技術の例] ○ 新型コロナ禍における救急出動への影響分析 ○ 林野火災の効果的な消火方法に関する研究開発

テーマ自由型研究開発 ※テーマ設定を含め提案を受付

消防機関が直面する課題を解決するための研究開発や、地域の消防防災力の向上を実現するための研究開発を募集します。

各区分における申請経費の上限、実施期間等

区 分	概 要	申請経費の上限		実施期間
		テーマ設定型研究開発	テーマ自由型研究開発	
実用可能性調査・基礎研究（フェーズ1）	消防防災でのニーズ調査や、技術シーズを保有している大学・企業等が実装化に向けて必要となる基礎研究のための実用可能性調査、基礎研究を実施するフェーズ。	260万円／年度	260万円／年度	1年間
基盤・応用研究（フェーズ2）	消防防災分野に必要とされるニーズをすでに把握しており、要素技術の信頼性、品質の向上、システム的设计・運用に関する研究開発やプロトタイプを作成など、実装化に向けて必要となる基盤・応用研究を実施するフェーズ。	2,600万円／年度	1,300万円／年度	1～2年間
社会実装研究（フェーズ3）	消防防災分野に必要とされるニーズを把握した上での基盤・応用研究が終了しており、社会実装を目指し、モデル消防本部への配備や実践タイプの製作等の研究を実施するフェーズ。	5,000万円／年度	2,500万円／年度	1～2年間

※申請経費が少額であり、成果を達成する見込みの高い優れた申請がある場合は、予算の枠の中で予定件数以上の採択を行う場合があります。